

「機械設計製図」課題 1

目的：

- ① 図枠を理解し、図枠を自分で作れるようにすること。
- ② 第三角法で作図時の投影関係を理解し、第三角法で簡単な機械部品を作図できるようになること。
- ③ 作図時、線種及び寸法補助記号を正しく使用すること。

1. 第三角法に基づいて次に示す部品の6面投影面図を作成せよ。ただし、図枠は自分で作成し、また寸法精度の記入はしないこと。

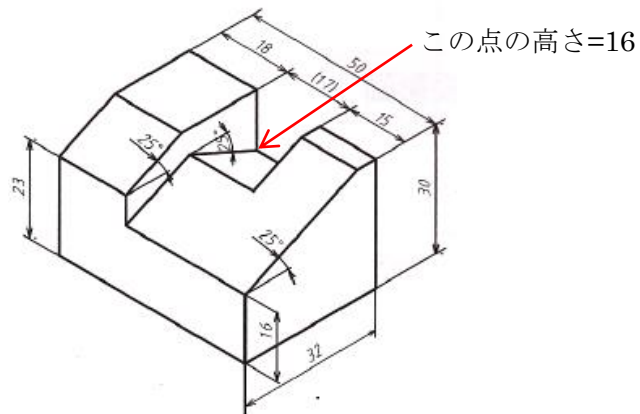


図1 部品の六面投影の製図練習（第三角法の投影関係に対する理解）

2. 必要な投影面数で図2の（a）と（b）に示す部品の試作図面をそれぞれ作成せよ。ただし、図2（b）の場合には、外径寸法を自分で設計して決めること。またA3サイズの製図用紙を半分と半分にして、それぞれ課題2（a）と2（b）の製図に使用すること。

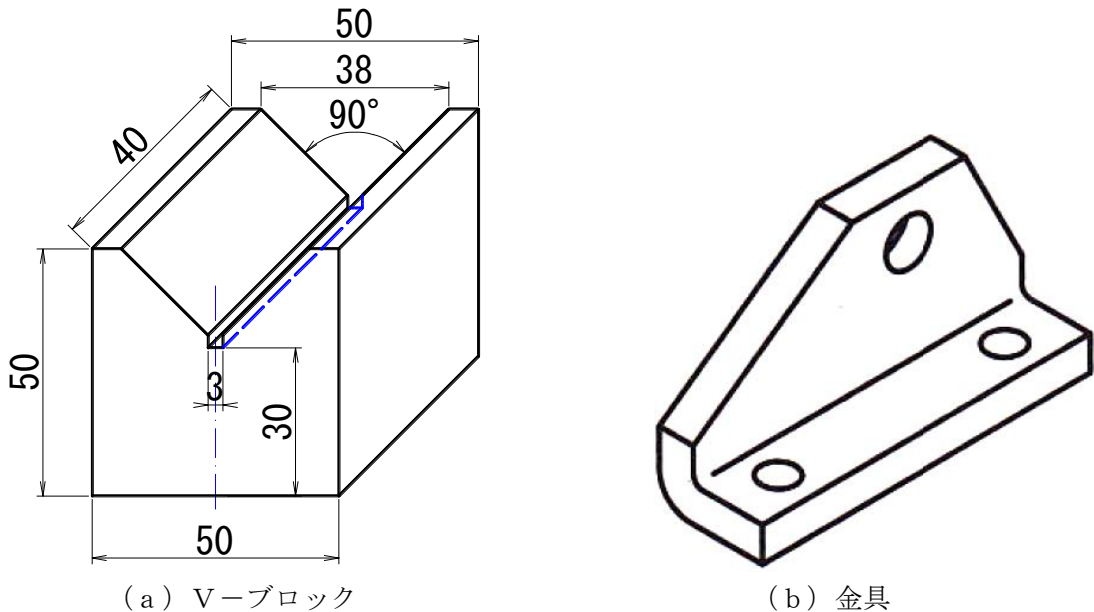


図2 V-ブロックと金具（簡単な機械部品の試作用図面の作図練習）